

○種目別開催要項（案）

【ソフトテニス交流大会】

1 競技規則

現行の公益財団法人日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックを準用する。

2 競技方法

- (1) チーム対抗の団体戦を行う。
- (2) チーム編成は、次のとおりとする。
監督 1 人
選手 6 人（男子 3 人[70 歳以上 1 人以上]・女子 3 人、登録選手 8 人以内）
合計 9 人以内
〔 監督は選手を兼任できるが、その際は選手としても登録する。なお、選手は登録したクラス以外への出場はできない。また、交替選手は一度出場したクラス以外への出場はできない。 〕
- (3) 対戦方法は、次の順序で行う。
第 1 試合：混合ダブルス（男子 70 歳以上と女子 60 歳以上）
第 2 試合：男子ダブルス（60 歳以上）
第 3 試合：女子ダブルス（60 歳以上）
- (4) マッチはすべて 7 ゲームとする。
- (5) 参加チームをブロックに分けて予選リーグ戦を行い、各ブロック 1 位チームによる決勝トーナメントを行う。
- (6) 各ブロックの 2 位以下のチームは同順位別の決勝トーナメントを行う。
- (7) 決勝トーナメント 2 回戦までは、3 ペアとも試合を行う。以後の試合は、2 点先取方式とする。
- (8) 予選リーグ戦の順位決定方式は、勝率の高い順に順位を決定する。勝率が同じ場合は、次の順序で順位を決定する。
 - ① 二者同率の場合、対戦の勝者を優位とする。
 - ② 同率者が三者以上の場合は、同率者相互のみの成績を比較し、勝率の高い順に順位を決定する。
 - ③ 上記の①、②で順位を決定できない場合は、同率者相互のみの比較により、次の順序で優位を決定する。
 - ア 得マッチ数から失マッチ数を減じた値の大きいチームを優位とする。
 - イ 合計得ゲーム数から合計失ゲーム数を減じた値の大きいチームを優位とする。
 - ウ 合計得ポイント数から合計失ポイント数を減じた値の大きいチームを優位とする。
 - ④ 前項の規定によっても順位が決定できない場合は、大会主催・主管団体は抽選その他適切な方法により順位を決定する。
- (9) 審判については、予選リーグ及び決勝トーナメント準々決勝までは相互審判で行い、準決勝、決勝戦は本部審判員が行う。

3 大会規定

- (1) 参加者の年齢は、60 歳以上（1962（昭和 37）年 4 月 1 日以前に生まれた人）とする。また、チーム編成における年齢区分の 70 歳以上は 1952（昭和 27）年 4 月 1 日以前に生まれた人とする。
- (2) 試合の組合せは、主催者及び主管団体で行う。
- (3) 大会運営上必要と認められる場合は、同一チームにおいても、複数のコートで同時に試合を行う場合もある。
- (4) 試合進行により、夜間試合（ナイター）となる場合がある。
- (5) 小雨決行とするが、競技が実施不可能なときは主催者が判断を行い、対応について連絡する。

4 競技上の注意

- (1) 出場者は、主催者が用意するゼッケンを背中に着ける。
- (2) 天候によっては、ウォームアップウェアの着用を競技委員長が認める。但し、先取を判別するためゼッケンを付けること。
- (3) 練習コートの割振りについては、監督会議において連絡する。